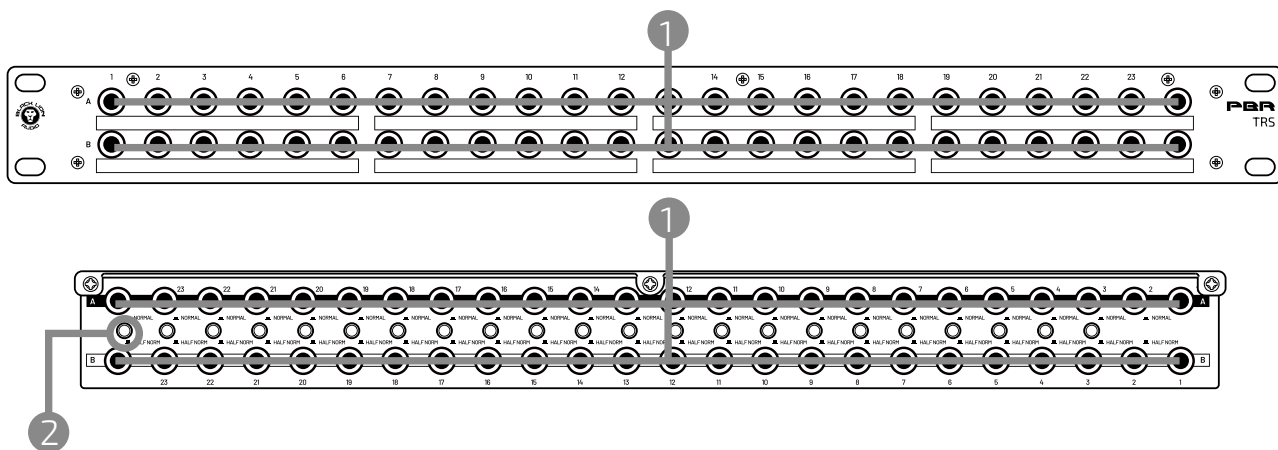




PBR TRS Owner's Manual

この度は Black Lion Audio PBR TRS をご購入頂き有難うございました。PBR TRS は 48 ポイントパッチベイで、お気に入りのハードウェアを固定的に設置およびルーティングすると共に、柔軟でクリエイティブなパッチングが可能です。

PBR TRS パッチベイはノーマル・モードとハーフノーマル・モードを備え、リアパネルでモジュール毎にモードの切り替えが可能です。このマニュアルでの「モジュール」とは、パッチベイのフロントとリアにおける縦の列が同じジャック一式のことを指します。一般には、デバイスの出力をリア上段のパッチ・ポイントに送り、デバイスの入力にリア下段に接続します。例えば、ディレイ・ユニットやコンプレッサーの入力をリア下段に接続し、出力をフロント上段に接続します。



1. 1/4 インチ TRS 端子 (バランス接続) : 1/4 インチ・コネクターを接続してオーディオ機器の接続とルーティングを行います。バランス接続 (TRS) とアンバランス接続 (TS) に対応します。
2. ノーマル / ハーフノーマル・スイッチ : 選択したチャンネルのルーティングをノーマルまたはハーフノーマル・モードに切り替えます。

<パッチベイのシグナル・フロー>

パッチベイの各モジュールでの信号の流れは、物理的な接続とモード設定 (ノーマルまたはハーフノーマル) の両方の影響を受けます。最も一般的な構成では、信号はリア上段の接続からパッチベイに入り、リア下段の接続から出て行きます。逆に、フロントでは、上段の接続が出力、下段の接続は入力になります。

下の図に示すとおり、モジュールのリア上段とリア下段のジャックにプラグが差し込まれている場合、リア上段から入った信号はリア下段の出力に直接送られます。この接続方式をパッチベイの「デフォルト」設定としておき、通常のシグナル・フローに使うと良いでしょう。

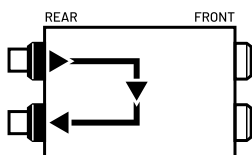


図 1

モジュールの上段に何も接続されていない場合、フロント下段の入力からの信号はリア下段の出力に送られます。

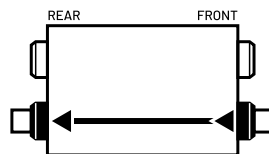


図 2

モジュールの 4 つすべてのジャックにプラグが差し込まれている場合、リア上段の入力に接続された信号はフロント上段の出力に送られ、フロント下段の入力からの信号はリア下段の出力に送られます。

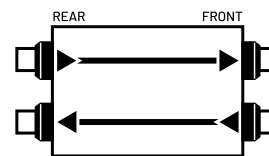


図 3



<ノーマル・モード>

モジュールがノーマル・モードの時、リア上段とフロント上段のジャックにプラグが差し込まれると、信号はリア上段からフロント上段に送られます。この時、図1の接続は断たれます。

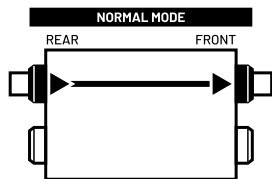


図 4

ノーマル・モードでは、複数のデバイスを直列で実行できます。これを行うには、パッチベイのフロントでパッチ・ケーブルを使用してデバイスを相互接続します。例えば、プリアンプからの信号をコンプレッサーに送り、最終的にはリバーブに送るということができます。ケーブルをフロント上段に差し込むと、リア下段に差し込まれているケーブルの接続が断たれます。

<ハーフノーマル・モード>

モジュールがハーフノーマル・モードの時、リア上段、リア下段、フロント上段のジャックにプラグが差し込まれると、信号はリア上段からフロント上段に送られます。この時、図1の接続が断たれることはありません。

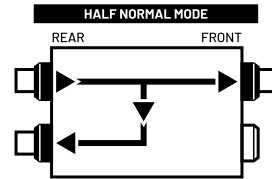


図 5

パッチベイに入ってくる信号を2つの異なる送り先に送ることで、パッチベイをスプリッターとして使用できます。これは信号の並行処理やアプリケーションのモニタリングに便利です。ハーフノーマル・モードになっているモジュールのフロント下段にケーブルを差し込むと、リア上段とリア下段のジャック間の接続が断たれます。

<パッケージ内容>

- ・ PBR TRS
- ・ 日本語マニュアル (本書)

- ・ フロント・パネル用ネーム・シール